



排便ケアトレーナー P16

取扱説明書

1022519

排便ケアトレーナー P16

> 目次

はじめに	3
製品構成	3
機能	4
お手入れ	4
トレーナーのセットアップ	
摘便 (DRF) 練習用のセットアップ	5
直腸診 (DRE) , 直腸刺激 (DRS) 練習用のセットアップ	6
浣腸練習用のセットアップ	7
技術データ	8
交換・補充部品	8
お問合せ先	8

排便ケアトレーナー P16

> はじめに

本製品は、直腸診（DRE）、直腸刺激（DRS）、摘便（DRF）、浣腸など、排便障害に対するケアを学ぶためのトレーニング・モデルです。このトレーナーによって、臨床ガイドラインと手順に関する知識と技術を高め、より自信をもって患者様へ接することができます。3B Scientificの排便トレーナーP16は、実習で重要となるシナリオを低コストでリアルに再現することが可能です。



Note:

本トレーナーは、リアルな実習体験を実現することに重点を絞って作られていますが、目的とするトレーニング項目への影響が少ない部分の構造などは、忠実な生体の再現を省略している部分もあります。

> 製品構成



1. 排便ケアトレーナーP16本体(臀部インサート装着状態)
2. 内リザーバーと中蓋(2bis)
3. DRF/DRS固定ボックス
4. 浣腸用肛門部
5. DRF用肛門部
6. DRS用肛門部
7. マグネット付き痔核モデル(2種)
8. コロコロ便4つ(プリストルスケール:タイプ1)
9. 固形便作成パウダー(150g)

10. 水様便パウダー(リターンフロー浣腸用,60g)
11. 模擬便準備用のヘラとカップ
12. 凝縮模擬血液(250g)
13. 模擬血液用ピペット
14. タルクパウダー(100g)
15. ワセリン
16. アクセサリー類収納ボックス
17. 外リザーバー(写真なし)
18. ソフトキャリングバッグ(写真なし)

排便ケアトレーナー P16

▶ 機能

排便トレーナーP16は、左側臥位になった患者の臀部周辺を再現し、肛門周辺は柔らかな素材で作られています。肛門にアクセスする際は、実際同様に臀裂を広げる動作が再現できるように、臀部の右側半分も柔らかくなっています。

3種ある肛門周辺部のパーツには、模擬皮膚用の独自素材3B SKINlike™が使用されており、実際に近い感触でDREやDRSの練習を行えます。カテーテルなどを挿入していない状態の肛門はしっかり閉じて、内部からの液体が漏れないようになっています。シンプルで効率的なモジュール付け替え式の構造により、各種手技用にセットアップし直すための時間は1分未満と短時間で済ませることができますので、限られた実習時間を無駄なく、より多くの練習と指導に充てていただくことができます。

排便ケアトレーナーP16で可能な練習項目：

- 直腸診（DRE）と直腸刺激（DRS）
- 摘便（DRF）
- 浣腸
- 坐薬の挿入
- 薬剤投与



内部に注入された液体は、備え付けのリザーバー（貯水容器）に密閉されるので、周囲を汚す心配がなく、トレーナーの移動も安心して行えます。また受容量も大きく、2つのリザーバーを活用すれば2Lまでの液体を注入することができます。



Note:

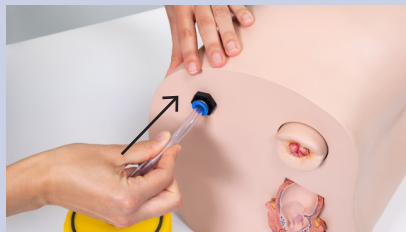
このトレーナーでお使いいただける浣腸チューブ、直腸バルーンカテーテルの太さは**16~40 CH**です。製品の損傷を防ぐため、チューブを挿入する際は必ず潤滑剤を塗布してください。

▶ お手入れ

練習後は、中の液体を空にして洗浄してから保管してください。本トレーナーは分解し、流水で洗うことができます。

ヒント：

外リザーバーの取り付け方法



外リザーバーの取り外し方法



練習によりトレーナーに付着したワセリン、模擬便は、流水で完全に洗い流してください。洗い終えたトレーナーは保管前にしっかりと乾かしてください。シリコン部分は適宜タルクパウダーを振りかけることで良好なコンディションを保つことができます。



Note:

有機溶剤を含む洗剤は製品の表面を傷めますので使用しないでください。また、製品表面への書き込みやラベルシールの貼り付けは変色を招きますので、お控えください。

排便ケアトレーナー P16

> トレーナーのセットアップ



ヒント:

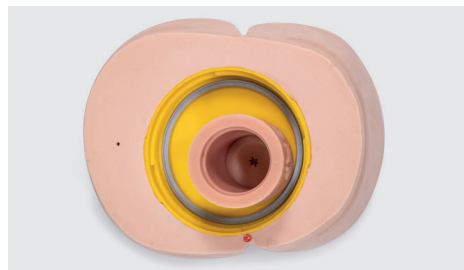
下記のアドレスでセットアップ手順の動画をご覧いただけます。
<https://www.3bs.jp/simulator/adult/p16.htm>

排便 (DRF) 練習用のセットアップ

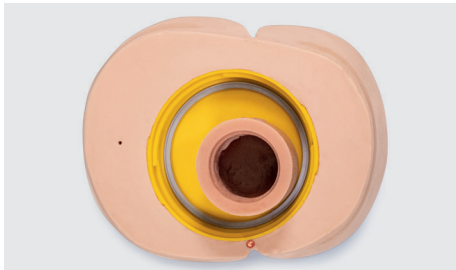
必要なパーツ



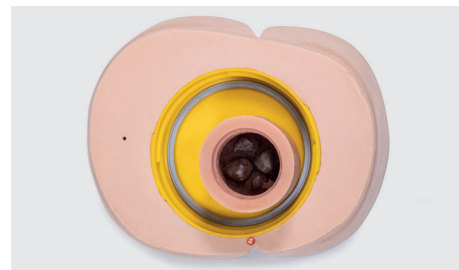
取り付け



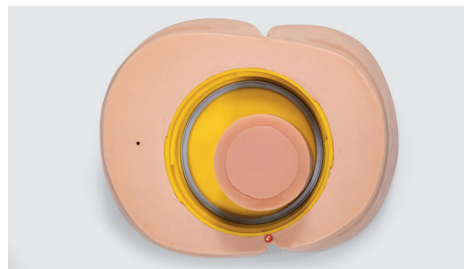
1. DRF用肛門部を臀部インサートの内側のくぼみにしっかりとめする。



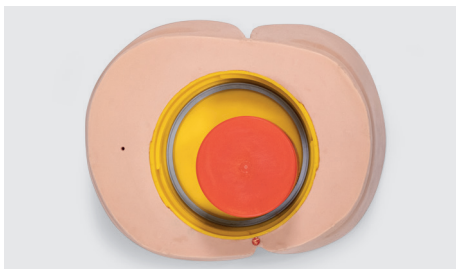
2. DRF用肛門部の中に、パウダーから練った固形便を入れる。(容量の3分の2を超えないように)



3. 固形便の中に、コロコロ便を混ぜる。



4. DRF用肛門部にシリコンカバーをはめる。



5. DRF用肛門部に赤いプラスチックの蓋を被せる。



6. DRF用肛門部を覆うようにDRF/DRS固定ボックスをかぶせ、ひねって締める。

排便ケアトレーナー P16

直腸診 (DRE) , 直腸刺激 (DRS) 練習用のセットアップ

必要なパーツ



取り付け

手順はDRF練習用のセットアップとほぼ同じですが、肛門部はDRS用のものを組み合わせてください。また、コロコロ便は混入しないでください。

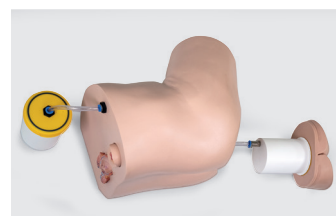
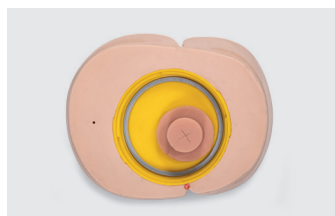
排便ケアトレーナー P16

浣腸練習用のセットアップ

必要なパーツ



取り付け



1. 浣腸用肛門部を臀部インサートの内側のくぼみにしっかりとはめる。

2. 内リザーバーに中蓋をはめ（赤いドットマークの位置を合わせる）、ヘラを使って2さじ分の水様便パウダーを中蓋の開口部からリザーバー内に投入する。

3. 赤いドットマークの位置が重なるように、臀部インサートのくぼみに内リザーバーをはめ、容器全体をひねって固定する。

4. 内リザーバーのチューブを腹腔内上部の弁（青い突起）にしっかりと差し込んで接続する。



Note:

外リザーバーもつなげることで、**最大2L**までの液体を漏らさずに保持できます。

ヒント:

1L以上の液体をトレーナー内に注ぐことになる場合は、外リザーバーにも液体が流れるように、中リザーバーのチューブが腹腔内上部の弁（青い突起）にしっかりと接続され、チューブのクランプが開いていることを確認してください。

排便ケアトレーナー P16

> 技術データ

重さ : 3.8 kg
本体寸法 : 55 × 35 × 32 cm
使用温度範囲 : 0℃ ~ +30℃ (32°F ~ 86°F)
保管温度範囲 : -10℃ ~ +40℃

> 交換・補充部品

部品名	品番	型番
水様便パウダー (60g)	1022521	XP16-001
固形便作成パウダー (1kg)	1022522	XP16-002
肛門部セット (DRS/DRE用, DRF用, 洗腸用, 各3個)	1022523	XP16-003

> お問い合わせ先

日本国内
問合せ先 日本スリービー・サイエンティフィック株式会社
新潟県新潟市江南区曾野木2-5-18
Tel: 0120-300-056 / 3bs.jp



3B Scientific GmbH
Ludwig-Erhard-Straße 20 • 20459 Hamburg • Germany
Phone: + 49 (0)40-73966-0 • Fax: + 49 (0)40-73966-100
3bscientific.com • info@3bscientific.com